

カルボシステイン錠250mg「JG」の安定性試験(PTPシート)

1. 試験目的

カルボシステイン錠250mg「JG」は、PTPシートをアルミピローに封入したものを紙箱に入れている。本試験ではアルミピローから取り出しPTPシート単独で保存したものの安定性を確認した。

2. 保存条件、包装形態

保存条件:

- ・安定性試験: 25±2°C/60±5%RH 6か月 [遮光]
- ・光に対する安定性試験: 120万lx・hr(約2000lx・25日) 25°C

包装形態: PTP(ポリ塩化ビニルフィルム、アルミニウム箔)

3. 試験項目

性状、溶出性、含量、純度試験(類縁物質) <参考値>、硬度 <参考値>

4. 評価方法

「錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性試験法について(答申)」(平成11年8月20日(社)日本病院薬剤師会学術第5小委員会)の評価分類基準に準じる。 <安定性の評価基準の項参照>

5. 試験結果

		規格	試験開始時	6か月後
25°C/ 60%RH	性状	白色、円形のフィルム コーティング錠	白色、円形のフィルム コーティング錠	白色、円形のフィルム コーティング錠
	溶出性(%)	15分間で80%以上	99.8(99.3-100.5)	99.2(98.6-100.2)
	含量(%)	表示量の 95.0~105.0%	100.44	100.09
		[開始時100%]	[100]	[99.6]
	類縁物質 (%)	参考値*	0.06	0.07
	硬度(N)	参考値	97	88
		評価	—	◎

		規格	試験開始時	120万lx・hr
光	性状	白色、円形のフィルム コーティング錠	白色、円形のフィルム コーティング錠	白色、円形のフィルム コーティング錠
	溶出性(%)	15分間で80%以上	99.8(99.3-100.5)	97.3(90.2-100.1)
	含量(%)	表示量の 95.0~105.0%	100.44	99.67
		[開始時100%]	[100]	[99.2]
	類縁物質 (%)	参考値*	0.06	0.06
	硬度(N)	参考値	97	92
		評価	—	◎

硬度: 1N≒0.1kgf 溶出性(%): 平均(最小-最大)

※個々の類縁物質: 0.13%以下(構造決定の閾値)

6. 結論

すべての保存条件について、変化が認められなかった。

安定性の評価基準

安定性の評価は、「錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性試験法について(答申)」に記載された試験項目毎の評価基準に従って行った。

【性状】

分類	評価基準
変化なし	外観上の変化を、ほとんど認めない場合
変化あり(規格内)	わずかな色調変化(退色等)等を認めるが、品質上、問題とならない程度の変化であり、規格を満たしている場合
変化あり(規格外)	形状変化や著しい変化を認め、規格を逸脱している場合

【純度試験・溶出性】

分類	評価基準
変化なし	規格値内の場合
変化あり(規格外)	規格値外の場合

【含量】

分類	評価基準
変化なし	含量低下が3%未満の場合
変化あり(規格内)	含量低下が3%以上で、規格値内の場合
変化あり(規格外)	規格値外の場合

【硬度】

分類	評価基準
変化なし	硬度変化が30%未満の場合
変化あり(規格内)	硬度変化が30%以上で、硬度が2kgf(19.6N)以上の場合
変化あり(規格外)	硬度変化が30%以上で、硬度が2kgf(19.6N)未満の場合

安定性の評価分類

安定性の評価分類は、原則として無包装状態での安定性試験における、保存条件、試験項目および試験結果から、下記の評価分類に従って分類した。

試験結果	評価
測定された全ての試験項目で変化を認めない	◎
いずれかの試験項目で、「規格内」の変化を認める	○
いずれかの試験項目で、「規格外」の変化を認める	△

※平成11年8月20日付「錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性試験法について(答申)」(日本病院薬剤師会)に準ずる。

令和元年7月

002